

世界は「わたし」からはじまる

所属	岐阜市立境川中学校	実践者	割石 裕美子 (G)
対象	中学1年生	時間数	10時間
場所	教室	実践教科	社会科
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカの貧困が日本を含め先進国と深い関わりがあることを理解することができる。 ・アフリカの発展のために、JICA専門家・協力隊・企業やNGOの方々など様々な人が援助活動を行っていることを知り、その生き方に「あこがれ」をもつことができる。 		
実践内容	回	プログラム	備考
	1・2	<u>○アフリカはどんなところだろう？</u> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカについて知っていること・イメージをポストイットに出来るだけたくさん書きこむ。(個人作業) ・順番に書いたことをB紙に貼りながら発表し合う。(グループ作業) ・さらにポストイットをグループ化して貼りなおし、それぞれにコメントを書いてまとめ、学級で発表をする。 ・実際のアフリカはどんな様子だろう？→ガーナのパワーポイントを見て、イメージとのギャップを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B紙 ・ポストイット(大) ・プロッキー 「ここもガーナ あそこもガーナ」 (パワーポイント)自作
	3	<u>○アフリカの農業・産業の特色を知ろう</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ガーナクイズ！！ ・農業・産業の特色を教科書・資料集で確認をする。 	「ガーナクイズ」 (パワーポイント)自作
	4～6	<u>○カカオ農園で働く人々はなぜ貧しいのだろう</u> <ul style="list-style-type: none"> ・「ガーナのカカオ農園」(ビデオ)を視聴し、なぜカカオ農園で働く人々が貧しいのか理由を交流しあう。 ・先進国とガーナとの関わりを知る。 ・2枚のチョコレートを食べてみて感想を交流しあう。 ・2枚のチョコレートの説明が書かれた「チョコレートパズル」を班で組み合わせる。 	世界が100人の村なら 「ガーナのカカオ農園」 ビデオ <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーのチョコ ・フェアトレードチョコ 「チョコレートパズル」 (自作)
	7～9	<u>○アフリカはどのような課題を抱えているのだろう</u> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカが抱えている問題を教科書や資料集を使って調べ交流する。 ・「あいのり」(エチオピア編)ビデオの視聴をする。 ・アフリカの課題解決のために、ガーナで活躍する日本人を紹介する。 ・ガーナで活躍する日本人の生き方に触れる。 	「あいのり・エチオピア編」ビデオ 「ガーナで活躍する日本人」写真・DVD
	10	<u>○ガーナを楽しもう</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ボスクさんからガーナを学ぼう。 ・ガーナのじゃんけん(アンペ)を楽しもう！ ・ガーナを食べよう！(ガーナの食べ物紹介) 	ガーナのチョコレート
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・参加型の授業に変え、「教える授業」から「考える授業」になり、生徒の変容を感じることができた。 ・様々な人の生き方に触れ、海外で活躍する日本人にあこがれと誇りをもつことができた。 ・「アフリカ」を肯定的にとらえることができ、固定観念について振り返ることができた。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・指導要領の時数とずれるため(かなり授業時数をかけるため)、年間を通して違う単元で時数をあわせる必要がある。 		
備考	「チョコレートパズル」(自作)は、「マジカルバナナ」(地球の木)のバナナカードを参考に作成した。		

[授業実践の詳細]

1 時限目「アフリカはどんなところ?①」

1 子どもの活動の流れ

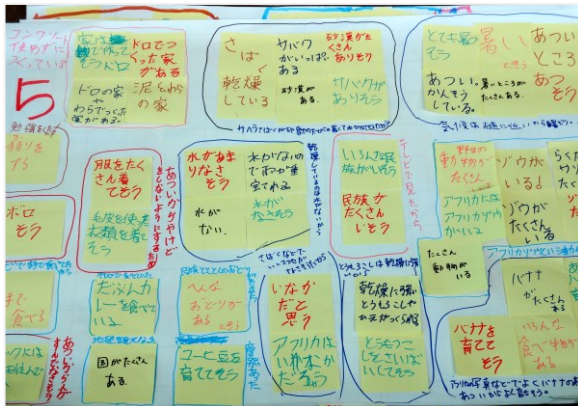
- ① アフリカについて知っていることやイメージなど、アフリカで思いつくことをポストイットにどんどん書きだす。(個人作業)
 - ② 書いたことを順番に班の中で交流をする。…1人1枚ずつ発表していく。意見を言いながらB紙にポストイットを貼っていく。同じ意見の場合、近くに貼っていく。全員のポストイットがなくなるまで貼り続ける。どんな意見でも否定はしない。
 - ③ 交流したことをB紙にまとめる。…貼った紙をさらに同じグループごとにまとめて貼りなおす。1つずつのグループに、題をつけてみる。
- <例>・とても暑いところ ・大きい動物がいたるところにいる

この時限のねらい

アフリカについて知っていること・イメージを交流しあうことを通して、アフリカについて興味関心をもち、どんなところかさらに知りたい・学びたいという意欲をもつことができる。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「アフリカ」について知っていること・イメージ」は思った以上にたくさんポストイットに書くことが出来、時間が足りないくらいであった。
- ◇ ポストイットに書いたことをまとめる時は、「動物」「環境」と簡単にまとめてしまう姿があったので、どのような動物か、どのような環境か、1文にしてまとめるよう援助する必要がある。
- ◇ すべての作業を、生徒はとても生き生きとして行い、楽しく作業を進めることができた。



(ポストイットで作った作品)



(班で作業をしている様子)

3 使用した教材 <教材1>アフリカ全図(地図)

2 時限目「アフリカはどんなところ?②」

1 子どもの活動の流れ

- ① 前時の授業で班ごとにまとめた「アフリカ」について発表しあう。

- ② 実際のアフリカをパワーポイントで見せる。
 - ・アフリカのモール ・エステサロンの様子 ・おしゃれな人
- ③ パワーポイントを見て感じたことを交流しあい、アフリカに対して固定観念・偏見をもっていたことに気づく。

この時限のねらい

アフリカについて知っていること・イメージを交流しあうことを通して、アフリカについて固定観念を持っていたことに気づき、本単元の課題「アフリカの発展は日本とどのような関わりがあるのか」を設定することができる。

2 子どもの活動の成果・反応

◇ 前時に自分たちで作成したB紙を堂々と発表することができた。発表内容例は次のとおり。

- ・アフリカは暑くて、黒人がたくさん住んでいる。
- ・ゾウやライオンなどの動物がたくさんいる。 ・水がないところ ・貧しい人が多い。
- ・国境がまっすぐ。昔ヨーロッパの植民地になったところ。 ・手で食事をとる。服はいつも同じ。
- ・戦争がたくさんある。 ・汚い感じがする。家とかも質素。 ・熱帯雨林がすごい。
- ・ピラミッドとかたくさんの遺跡がある。 ・のんびりと狩りをして暮らしている。

◇自分たちがイメージしていた「アフリカ」とのギャップに、声をあげて驚く姿が見られた。

◇「アフリカ」の発展について興味をもち、さらにアフリカについて知りたい！という思いをもつことができた。

3 使用した教材

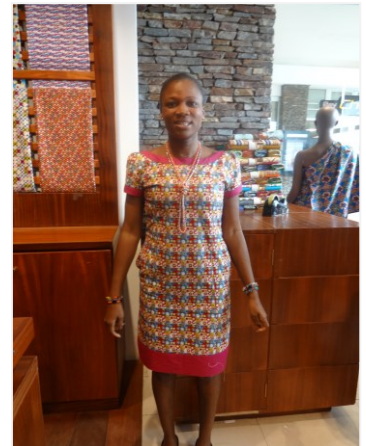
<教材2>「ここもガーナ あそこもガーナ」写真資料



(ショッピングセンター)



(車が多い)



(おしゃれなガーニアン)

3 時限目「アフリカの農業や産業はどのような特色があるのだろう」

1 子どもの活動の流れ

- ① ガーナクイズ
- ② どんな物を中心に作っているのか、どんな資源が豊富なのか、それらの産業の特徴を確認しあう。

この時限のねらい

アフリカの様々な統計資料・グラフ・写真を読み取ることを通して、アフリカの産業の特色と問題点を理解することができる。

2 子どもの活動の成果・反応

◇ガーナクイズを楽しく出来ることができた。……へえ～、チョコレートはとけないんだ！ 卵の黄身は白い！

- ・ドラえもんはガーナでは有名ではない。 ・先生に対する態度 が全然違うぞ！ ・フーフーという食べ物を食べるんだ。 ・みんな頭に物を乗せているな。すごいつ！ ・オシャレだな。

◇教科書や資料集を使い、アフリカの概要を掴むことができた。… ガーナやコートジボワールではカカオ

- ・コーヒーや綿花のプランテーション
- ・らくだの放牧
- ・希少金属(レアメタル)がたくさんとれる。
- ・金・銀などの資源が豊富。
- ・すべて原料を生産している。
- ・モノカルチャー経済になっている。
- ・価格の変動の影響を受けやすいので、国民の生活が不安定になる。
- ・天候や気候によって価格が変わってしまう。
- ・ヨーロッパや日本に輸出している割合が高い。

3 使用した教材

<教材3>「ガーナクイズ！」/パワーポイント

<p>ガーナで有名なものは…？</p> <p>問7 ガーナでよく知られている日本のものは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ドラえもん ②すもう ③キティちゃん ④忍者 	<p>答え ②すもう</p> <p>1位 すもう 10人</p> <p>2位 忍者 6人</p> <p>3位 キティちゃん 4人</p> <p>4位 ドラえもん 0人</p> 	<p>人気の食べ物は？</p> <p>問9 今、ガーナで爆発的な人気の食べ物は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ①乾燥ラーメン ②乾燥焼きそば ③チャーハン 	<p>答え ②乾燥焼きそば</p> <p>今、乾燥焼きそばが大人気。その名はインドミー</p> <p>どこの店に行っても売り切れ状態。</p> 
有名なもの (問題)	すもう (答え)	人気の食べ物 (問題)	インドミー (答え)

4 時限目「カカオ農園で働く人々はどうして貧しいのだろう？①」

1 子どもの活動の流れ

- ① カカオ農園で働く人々のビデオを視聴する。
- ② どうして貧しいのか、その理由を考えながら視聴する。

この時限のねらい

カカオ農園で働く人々の様子をビデオで視聴することを通して、なぜ貧しいのかを考えることができる。

2 子どもの活動の成果・反応

◇実際にカカオ農園で働く人々の姿を見て、自分たちの生活の豊かさや世界の不公平さを実感できた。

◇なぜ一生懸命に働いても豊かにならないのか、その理由をノートにたくさん書く姿が見られた。

3 使用した教材 <教材4>「ガーナのカカオ農園」(世界が100人の村なら)ビデオ

5-6 時限目「カカオ農園で働く人々はどうして貧しいのだろう？②」

1 子どもの活動の流れ

- ① 前時の感想を交流しあう
- ② なぜ貧しいのか、ビデオを見て考えたことを交流しあう。
- ③ 2枚のチョコレートを食べ比べて感想を交流しあう。
 - ・Aのチョコの方がおいしい？
 - ・Bのチョコの方が高級？
- ④ AとBのチョコについて書かれた説明の紙を班で交流しながら、AとBにわかる。
 - ・どちらのチョコレートが農薬を使っているか
 - ・チョコレートの値段はどこで決まるか
 - ・値段が安いものと高いもの
 - ・児童労働が行われているもの
 - ・学校へいつているもの

この時限のねらい

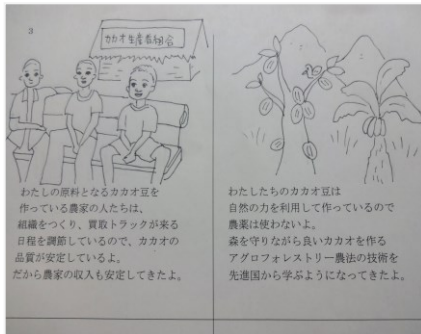
カカオ農園で働く人々がなぜ貧しいのかを考えることを通して、先進国と発展途上国の貿易の不公平さや自分たちの生活とのかかわりについて理解することができる。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ ビデオを視聴した感想を語りあうことで、アフリカの課題を実感することができた。
 - ・カカオ農園で働くのに、カカオについて知らない。・すごくかわいそう。
 - ・農園主はひどい人だった。・小さい子供が学校にも行けなくてかわいそう。
 - ・ボールペンをプレゼントしたいな。・わたしたちの生活はすごく豊かだ。もっと感謝したい。
- ◇ なぜ貧しいのか、ビデオを見て考えたことを交流しあう場面ではたくさんの意見がでた。
 - ・農園主が全部持って行ってしまう。・お母さんが病気だから。治療費がいる。
 - ・お父さんがいなかった。・お金をもらっても生活費でなくなってしまう。・学校に行けないから。
 - ・国が貧しいからでは。・もとの給料が低い。・子どもが働いて当たり前という考えかたがあるから。
 - ・チョコレートの値段が安いから？・なぜ安いのだろう？
- ◇ アフリカが貧しい理由の中に先進国(日本)との関わりがあることに気づき、驚く生徒が多かった。
- ◇ 実際にチョコレートを食べることを通して、問題を身近なものに感じることができた。
- ◇ パズルを使うことで、楽しく班で交流しあいながらもフェアトレードについて考えを深めることができた。

3 使用した教材

<教材5> チョコレートパズル(「まじかるバナナ」を参考に自作)



(チョコレートクイズ1)



(チョコレートクイズ2)



(チョコレートクイズ3)

7-9 時限目「アフリカはどのような課題を抱えているのだろう」

1 子どもの活動の流れ

- ① 教科書や資料集で調べ学習を行い、交流をする。
 - ・都市への人口集中・人口増加率が非常に高い。
 - ・上下水道の整備がおくれ。・賃金の低い単純労働が多い。
 - ・簡単なつくりの家に住んでいる。スラム地区。
 - ・砂漠化、天候不順による食料不足。
 - ・栄養が十分でない。病気に対する抵抗力が低い。
 - ・エイズの感染が高い。・野生動物の減少。農地の拡大。
 - ・アパルトヘイト政策のなごり。・貧富の格差。・治安の悪化。
- ② アフリカの自立に向けてどのような取組が行われているのか、教科書や資料集で調べる。
 - ・アフリカ連合の結成
 - ・先進国が食糧援助や開発援助を行っている。・NGOによる指導

この時限のねらい

- ・アフリカはどのような課題を抱えているのかを様々な資料から調べ、理解することができる。
- ・アフリカの自立に向けての取り組みを知ることを通して、日本人の活躍やそのすばらしい生き方にふれ、自分も行動をおこしていきたいという願いをもつことができる。

・日本の援助(学校や病院の建設、道路や水道、電気の整備 稲作技術の向上 保健衛生の指導)

③ 「あいのり」(エチオピア編)を見て、アフリカの課題と先進国との関わりを知る。

③ JICAの活躍 ガーナで活躍している人々の写真・DVDを見ながら、説明をする。

・稲作技術を伝える人 ・小学校で数学を教える人 ・道路をつくる人 ・保健衛生に取り組む人

2 子どもの活動の成果・反応

◇ 教科書や資料集を使い、アフリカの課題についてたくさん調べることができた。

◇ あいのり「エチオピア編」を視聴し、アフリカの課題が日本と深く関わっていることを再確認できた。

◇ 実際にガーナで活躍する人々の写真や語りを聞くことで生徒があこがれ・日本人としての誇りを感じることができた。

3 使用した教材

<教材6> 中学校社会科の教科書(地理的分野)

<教材7> TV番組「あいのり(エチオピア編)」のビデオ(緑の革命に関する現状と課題)

<教材8> ガーナで活躍する日本人 パワーポイント資料・DVD資料

稲作技術を広める専門家



(ガーナで活躍する日本人①)

自動車整備を大学で教える



(ガーナで活躍する日本人②)

■ 全体を通して

1 授業の様子

「アフリカは未開の土地」という固定概念からはじまった授業。実際にガーナの生徒(ボスクさん)がいたために、私自身、とても気を遣うスタートとなった。しかし、授業が進んでいくうちにボスクさんから「私もガーナのことを紹介したい！」という前向きなコメントをもらい、10時間目はボスクさんによるガーナ紹介となった。ボスクさんと一緒に遊んだガーナのじゃんけん(アンペ)は大盛況で、休み時間に行う生徒の姿が見られたり、「アフリカへ行きたい！」という肯定的な意見が聞かれたりするようになった。

また、ガーナで活躍する人々の生き方は、生徒の心に大きく響き、将来、「世界で活躍をしたい」というコメントをノートに書く生徒の姿に喜びを感じた。

この授業を通して、世界は遠いものではなく、「わたし」からはじまるということ、生徒だけでなく私自身も深く実感することができた。また、参加型の授業を通して今までの一斉授業の在り方を振り返ることができたことは大きな成果だったと思う。



<写真1> ガーナの遊び(アンペ)をしている様子



<写真2> 班で交流している様子



<写真3> 班で交流している様子



<写真4> ビデオを視聴している様子

2 参考文献・資料

- 1) 堀米薫 作・小泉るみ子 絵 『チョコレートと青い空』そうえん社
- 2) 岡本知久 『チョコレートストーリー』東京図書出版会
- 3) 高根務・山田肖子 『ガーナを知るための47章』明石書店
- 4) 特定非営利活動法人地球の木 参加型学習教材『マジカルバナナ』
- 5) 特定非営利活動法人ACE ワークショップ教材 『おいしいチョコレートの真実』

以上